

『社会学研究』80号(2006年12月14日刊)

特集 「社会的ジレンマの計量社会学」

- ・「巻頭言 家庭廃棄物をめぐる人間行動と制度」(海野道郎)
- ・「誰が社会的ジレンマ状況を定義するのか? 社会的ジレンマ状況の定義と人々の行動」(海野道郎)
- ・「環境配慮行動の規範的構造 「社会的ジレンマの解決」という視点から」(土場学)
- ・「義務的行動と自発的行動 ごみ減量行動規定因の分析」(小松洋)
- ・「個人が協力行動を選択しない条件 他者行動の認知とごみ分別制度が分別行動に与える影響」(篠木幹子)
- ・「ごみ処理有料化への賛否を規定する要因の関係 社会的ジレンマの構造的解決を受け入れる意識」(阿部晃士)
- ・「環境配慮型製品を選択するのはどのような人か 情報保有とネットワークの効果」(村瀬洋一)

論説

- ・「バリ島社会における開発と文化のポリティクス ネオ伝統的ローカル・ガバナンスに向けて」(伊藤嘉高)
- ・「ネーションと市民社会 信頼と寛容のジレンマの克服に向けて」(安達智史)
- ・「コミュニティ支援活動からリドレス運動へ 草の根活動組織 NCCR の成立」(土田久美子)
- ・「抗議行動の持続性と参加者の運動観 ドイツにおける高レベル放射性廃棄物輸送反対闘争の事例から」(青木聡子)

研究ノート

- ・「都市社会学の貧困または奢侈 マイク・デイヴィス著、Planet of Slums を前にして」(伊藤嘉高)

書評

- ・片瀬一男著『夢の行方 高校生の教育・職業アスピレーションの変容』(評者 藤村正之)
- ・橋本茂著『交換の社会学 G・C・ホーマンズの社会行動論』(評者 海野道郎)
- ・山田富秋編著『ライフストーリーの社会学』(評者 本郷正武)